

平成22年12月期 第1四半期決算短信



平成22年5月10日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 堀場製作所

コード番号 6856 URL <http://www.horiba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 堀場 厚

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 佐藤 文俊

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

TEL 075-313-8121

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	26,817	5.4	1,990	△2.6	1,963	4.0	1,383	43.0
21年12月期第1四半期	25,451	—	2,043	—	1,887	—	967	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年12月期第1四半期	円 銭		円 銭		円 銭		円 銭	
	32.71		32.67		—		—	
21年12月期第1四半期	22.88		—		—		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年12月期第1四半期	133,188		80,634		60.5		1,905.27	
21年12月期	129,580		79,977		61.7		1,889.58	

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 80,573百万円 21年12月期 79,906百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	—	6.00	—	7.00	13.00
22年12月期	—	—	—	—	—
(予想)		6.00	—	9.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期 連結累計期間 通期	55,000	12.2	3,500	116.3	3,400	98.8	2,400	135.2	56.75	
	118,000	12.9	8,500	65.2	7,800	47.9	5,000	58.1	118.23	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期第1四半期 42,532,752株 21年12月期 42,532,752株
 ② 期末自己株式数 22年12月期第1四半期 243,000株 21年12月期 244,951株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年12月期第1四半期 42,289,557株 21年12月期第1四半期 42,284,223株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等につきましては、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(詳細は、15~16ページ「平成22年12月期 第1四半期決算概要」をご参照ください。)

当第1四半期連結累計期間における我が国経済をみると、海外経済の改善や各種経済対策の効果などから景気は着実に持ち直しましたが、民間需要の自律的回復力がなお弱いえ、失業率が高水準で推移するなど、厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループでは、自動車産業の投資抑制の影響を大きく受けたものの、半導体メーカーの設備投資回復に支えられ、売上高は26,817百万円と前年同期比5.4%の増収となりました。

もっとも、利益面では、半導体システム機器部門において増収により利益を急回復させましたが、主力製品であるエンジン排ガス計測システムの売上が減少したことなどから、営業利益は1,990百万円と同2.6%の減益となりました。

経常利益は、営業利益が減少したものの、支払利息の減少や為替損益の改善などにより、1,963百万円と同4.0%の増益となりました。四半期純利益は、前年同期にたな卸資産評価損を472百万円計上した反動から、特別損失が前年同期比で大きく減少した事情も加わって、1,383百万円と同43.0%の増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(自動車計測システム機器部門)

日本や欧米における自動車関連業界の投資抑制の影響などにより、売上高は7,005百万円となり前年同期比29.9%の減収となりました。また、主力製品であるエンジン排ガス計測システムの売上減少が響き、営業損失として327百万円を計上しました（前年同期は1,415百万円の営業利益）。

(分析システム機器部門)

欧米では政府支出関連投資が一巡し販売は低調に推移したものの、国内においては年度末を控えた大学・研究機関での需要拡大により、販売は堅調に推移しました。この結果、売上高は8,370百万円となり前年同期比2.3%の増収となりました。一方、米国において、収益性の高い先端素材分析用分析機器の販売が落ち込んだことにより、営業利益は567百万円となり同16.9%の減益となりました。

(医用システム機器部門)

日本での血球計数装置の販売が引き続き堅調に推移したほか、製品設置台数の増加に伴って検査試薬の販売が増加したことや、米国でのコスト削減効果などにより収益性が改善しました。この結果、売上高は5,417百万円となり前年同期比6.7%の増収、営業利益は494百万円となり同63.4%の増益となりました。

(半導体システム機器部門)

昨年後半から急速に回復しているシリコン半導体や発光ダイオード(LED)などの製造装置メーカーの投資拡大により、半導体製造装置用マスフローコントローラを中心販売が大幅に回復しました。これにより売上高は6,023百万円となり前年同期比173.3%の増収、営業利益は1,256百万円となりました（前年同期は357百万円の営業損失）。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ3,607百万円増加し、133,188百万円となりました。現金及び預金が653百万円、有形固定資産が405百万円、無形固定資産が271百万円減少したものの、有価証券が2,641百万円、繰延税金資産（流動）が830百万円、仕掛品が478百万円それぞれ増加したことなどによります。

負債総額は前連結会計年度末に比べ2,950百万円増加し、52,554百万円となりました。未払金の減少502百万円、長期借入金の減少209百万円などがあったものの、支払手形及び買掛金が1,881百万円、未払法人税等が657百万円、賞与引当金が636百万円それぞれ増加したことなどによります。

純資産は、利益剰余金が1,082百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ657百万円増の80,634百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,388百万円増加し、28,979百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加や、仕入債務の増加などにより3,317百万円のプラス（前年同期は4,130百万円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得や定期預金の預入などにより1,382百万円のマイナス（前年同期は1,537百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や長期借入金の返済などにより375百万円のマイナス（前年同期は2,765百万円のマイナス）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の収益動向を勘案し、平成22年12月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を、以下のとおりといたします。

第2四半期連結累計期間業績予想

(単位：百万円)

	前回予想 (2月15日時点)	今回予想 (5月10日時点)	差額
売上高	54,000	55,000	1,000
営業利益	2,200	3,500	1,300
経常利益	1,700	3,400	1,700
四半期純利益	900	2,400	1,500

セグメント別第2四半期連結累計期間業績予想

売上高

(単位：百万円)

	前回予想 (2月15日 時点)	今回予想 (5月10日 時点)	差額
自動車	17,100	16,000	△1,100
分析	16,500	16,000	△500
医用	11,400	11,000	△400
半導体	9,000	12,000	3,000
合計	54,000	55,000	1,000

営業利益

(単位：百万円)

	前回予想 (2月15日 時点)	今回予想 (5月10日 時点)	差額
自動車	100	△300	△400
分析	400	600	200
医用	700	800	100
半導体	1,000	2,400	1,400
合計	2,200	3,500	1,300

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、日本及び欧米市場において自動車関連業界の設備投資や研究開発投資の回復が遅れているものの、シリコン半導体や発光ダイオード(LED)の製造装置メーカーの投資が拡大していることを受け、半導体製造装置用マスクローコントローラや半導体洗浄装置用薬液濃度モニタの販売が拡大していることから、売上高を10億円上方修正いたしました。利益面では、主に半導体システム機器部門の販売増と、昨年より継続して取り組んでいる経費削減効果などにより、営業利益を13億円、経常利益を17億円、四半期純利益を15億円、いずれも上方修正いたしました。

セグメント別では、売上高を、自動車計測システム機器部門11億円、分析システム機器部門5億円、医用システム機器部門4億円、いずれも下方修正いたしました。一方で半導体システム機器部門を30億円、上方修正いたしました。また、営業利益は、自動車計測システム機器部門を4億円下方修正しましたが、分析システム機器部門で2億円、医用システム機器部門で1億円、半導体システム機器部門につきましては14億円、上方修正いたしました。

通期連結業績予想

(単位：百万円)

	前回予想 (2月15日時点)	今回予想 (5月10日時点)	差額
売上高	113,000	118,000	5,000
営業利益	6,500	8,500	2,000
経常利益	5,500	7,800	2,300
当期純利益	3,200	5,000	1,800

セグメント別通期連結業績予想

売上高

(単位：百万円)

	前回予想 (2月15日 時点)	今回予想 (5月10日 時点)	差額
自動車	37,000	36,000	△1,000
分析	35,000	35,000	—
医用	24,000	24,000	—
半導体	17,000	23,000	6,000
合計	113,000	118,000	5,000

営業利益

(単位：百万円)

	前回予想 (2月15日 時点)	今回予想 (5月10日 時点)	差額
自動車	1,000	600	△400
分析	1,500	1,500	—
医用	2,100	2,100	—
半導体	1,900	4,300	2,400
合計	6,500	8,500	2,000

通期の連結業績予想につきましては、自動車関連事業での第2四半期連結累計期間の業績動向及び半導体製造装置市場の需要動向を勘案し、売上高を50億円、営業利益を20億円、経常利益を23億円、当期純利益を18億円、それぞれ上方修正いたしました。

セグメント別では、第2四半期連結累計期間の業績予想の修正内容を反映し、自動車計測システム機器部門で売上高を10億円、営業利益を4億円、下方修正いたしましたが、第3四半期以降も需要が引き続き堅調に推移すると予想される半導体システム機器部門では、売上高を60億円、営業利益を24億円、上方修正いたしました。その他の事業部門につきましては予想を据え置きました。

なお、当期の配当予想につきましては、変更はありません。

※ 配当予想及び業績予想につきましては平成22年5月10日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は、これらの予想数値と異なる場合があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

事業に関するリスク

(為替相場の変動を含む国際的活動に伴う諸リスク、買収や提携に伴う業績や財政状態の変化リスク、自然災害による設備の破損とそれに伴う納期遅延等リスク、契約や取引に関するリスク、各種法規制等)

開発・製造に関するリスク

(製造物責任によるリスク、新製品開発の遅延リスク、知的財産権に関するリスク、原材料価格変動のリスク)

財務に関するリスク

(保有有価証券やその他資産の時価の変動、制度変更や会計上の方針変更に伴う繰延税金資産の取り崩しなどの発生)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸資産残高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

2) 固定資産の減価償却費の算出方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 工事契約に関する会計基準の適用

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主として工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

② 表示方法の変更

（四半期連結貸借対照表関係）

前第1四半期連結会計期間において、無形固定資産の「その他」に含めて表示しております「ソフトウェア」は、重要性が増したため区分掲記しております。なお、前第1四半期連結会計期間の無形固定資産の「その他」に含まれる「ソフトウェア」は6,055百万円であります。

（追加情報）

国内連結子会社1社は、退職給付に係る会計処理をより適正に行うため、前連結会計年度の第4四半期会計期間より退職給付債務の計算方法について簡便法から原則法へ変更しております。このため、前第1四半期連結累計期間と当第1四半期連結累計期間で退職給付債務の計算方法が異なっております。

これにより、前第1四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が2百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,866	21,520
受取手形及び売掛金	34,722	34,511
有価証券	9,107	6,465
商品及び製品	7,919	7,809
仕掛品	8,946	8,468
原材料及び貯蔵品	7,410	7,086
繰延税金資産	2,911	2,080
その他	3,094	2,788
貸倒引当金	△847	△825
流動資産合計	94,131	89,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,306	9,604
機械装置及び運搬具（純額）	3,891	3,985
土地	7,098	7,153
建設仮勘定	272	156
その他（純額）	2,628	2,702
有形固定資産合計	23,196	23,602
無形固定資産		
のれん	269	293
ソフトウエア	5,520	5,727
その他	523	563
無形固定資産合計	6,313	6,585
投資その他の資産		
投資有価証券	4,734	4,482
繰延税金資産	2,034	2,216
その他	2,911	2,923
貸倒引当金	△133	△133
投資その他の資産合計	9,547	9,488
固定資産合計	39,057	39,676
資産合計	133,188	129,580

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成22年3月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年12月31日)

負債の部

流動負債

支払手形及び買掛金	12,448	10,567
短期借入金	6,417	6,618
未払金	7,900	8,403
未払法人税等	1,324	666
繰延税金負債	67	24
賞与引当金	1,472	835
役員賞与引当金	59	16
製品保証引当金	946	898
その他	6,669	6,153
流動負債合計	37,308	34,183

固定負債

社債	10,000	10,000
長期借入金	1,521	1,730
繰延税金負債	119	30
退職給付引当金	1,676	1,675
役員退職慰労引当金	228	254
債務保証損失引当金	67	56
その他	1,633	1,673
固定負債合計	15,246	15,420

負債合計

	52,554	49,603
--	--------	--------

純資産の部

株主資本

資本金	12,011	12,011
資本剰余金	18,717	18,717
利益剰余金	52,177	51,095
自己株式	△804	△811
株主資本合計	82,101	81,012

評価・換算差額等

その他有価証券評価差額金	1,039	932
為替換算調整勘定	△2,567	△2,039
評価・換算差額等合計	△1,528	△1,106

新株予約権

新株予約権	56	59
少數株主持分	3	11
純資産合計	80,634	79,977

負債純資産合計

負債純資産合計	133,188	129,580
---------	---------	---------

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	25,451	26,817
売上原価	14,020	15,142
売上総利益	11,430	11,674
販売費及び一般管理費	9,386	9,683
営業利益	2,043	1,990
営業外収益		
受取利息	52	24
受取配当金	1	1
為替差益	—	58
雑収入	99	60
営業外収益合計	152	144
営業外費用		
支払利息	242	141
為替差損	44	—
雑損失	22	30
営業外費用合計	309	172
経常利益	1,887	1,963
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	5	4
たな卸資産評価損	472	—
減損損失	8	40
投資有価証券評価損	7	—
債務保証損失引当金繰入額	—	11
その他	0	—
特別損失合計	495	56
税金等調整前四半期純利益	1,392	1,907
法人税、住民税及び事業税	891	1,192
法人税等調整額	△461	△660
法人税等合計	429	531
少数株主損失(△)	△4	△7
四半期純利益	967	1,383

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,392	1,907
減価償却費	1,016	1,038
減損損失	8	40
のれん償却額	8	9
貸倒引当金の増減額（△は減少）	37	58
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△81	24
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△638	△25
受取利息及び受取配当金	△53	△25
支払利息	242	141
為替差損益（△は益）	△1	11
有形固定資産売却損益（△は益）	△1	—
固定資産売却損益（△は益）	—	△0
固定資産除却損	5	4
有価証券評価損益（△は益）	—	1
投資有価証券評価損益（△は益）	7	—
売上債権の増減額（△は増加）	4,776	△832
たな卸資産の増減額（△は増加）	956	△1,351
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,784	2,091
その他	△312	871
小計	5,582	3,966
利息及び配当金の受取額	66	26
利息の支払額	△284	△192
法人税等の支払額	△1,232	△482
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,130	3,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△66	△500
有価証券の取得による支出	—	△239
有価証券の売却による収入	—	158
有形固定資産の取得による支出	△1,377	△666
有形固定資産の売却による収入	1	6
無形固定資産の取得による支出	△91	△48
投資有価証券の取得による支出	△3	△91
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	—
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,537	△1,382

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,329	176
長期借入れによる収入	3	9
長期借入金の返済による支出	△181	△220
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△48	△50
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の純増減額（△は増加）	—	△0
配当金の支払額	△1,209	△290
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,765	△375
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	△170
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△76	1,388
現金及び現金同等物の期首残高	22,660	27,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,583	28,979

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	自動車計測 システム機器 (百万円)	分析 システム機器 (百万円)	医用 システム機器 (百万円)	半導体 システム機器 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,988	8,182	5,076	2,203	25,451	—	25,451
(2) セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,988	8,182	5,076	2,203	25,451	—	25,451
営業利益又は 営業損失 (△)	1,415	682	302	△357	2,043	—	2,043

当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	自動車計測 システム機器 (百万円)	分析 システム機器 (百万円)	医用 システム機器 (百万円)	半導体 システム機器 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	7,005	8,370	5,417	6,023	26,817	—	26,817
(2) セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,005	8,370	5,417	6,023	26,817	—	26,817
営業利益又は 営業損失 (△)	△327	567	494	1,256	1,990	—	1,990

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、当社製品の市場における使用目的に応じて区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
自動車計測システム機器	エンジン排ガス計測システム、使用過程車用排ガス分析計、車載型排ガス分析装置、ドライブラインテストシステム、エンジンテストシステム、ブレーキテストシステム、ドライブレコーダー
分析システム機器	科学用分析装置（粒子径分布測定装置、蛍光X線分析装置、ラマン分光分析装置、分光器、グレーティング）、環境用測定装置（pHメータ、煙道排ガス分析装置、水質分析装置、大気汚染監視用分析装置）
医用システム機器	血液検査装置（血球計数装置、免疫測定装置、生化学用検査装置、血糖値検査装置）
半導体システム機器	マスフローコントローラ、薬液濃度モニタ、半導体・液晶用薄膜計測システム、半導体異物検査装置、残留ガス分析装置

3. 追加情報

当第1四半期連結累計期間

(退職給付に係る会計処理)

「追加情報」に記載のとおり、国内連結子会社1社は、退職給付に係る会計処理をより適正に行うため、前連結会計年度の第4四半期会計期間より退職給付債務の計算方法について簡便法から原則法へ変更しております。このため、前第1四半期連結累計期間と当第1四半期連結累計期間で退職給付債務の計算方法が異なっております。これにより、前第1四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比べて、営業利益が、自動車計測システム機器で0百万円、分析システム機器で2百万円、医用システム機器で0百万円、半導体システム機器で0百万円それぞれ増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日）

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,189	4,245	8,437	579	25,451	—	25,451
(2) セグメント間の内部売上高	1,993	403	816	392	3,607	(3,607)	—
計	14,182	4,649	9,254	972	29,058	(3,607)	25,451
営業利益又は 営業損失（△）	1,368	200	△17	58	1,609	434	2,043

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

	日本 (百万円)	アメリカ (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,310	4,243	8,947	1,316	26,817	—	26,817
(2) セグメント間の内部売上高	3,810	382	980	363	5,537	(5,537)	—
計	16,120	4,625	9,928	1,680	32,354	(5,537)	26,817
営業利益又は 営業損失（△）	1,598	168	△65	209	1,910	80	1,990

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アメリカ…北米・南米全域
- (2) 欧州………欧州全域、ロシア、アフリカ
- (3) アジア……日本を除くアジア・オセアニア全域

3. 追加情報

当第1四半期連結累計期間

(退職給付に係る会計処理)

「追加情報」に記載のとおり、国内連結子会社1社は、退職給付に係る会計処理をより適正に行うため、前連結会計年度の第4四半期会計期間より退職給付債務の計算方法について簡便法から原則法へ変更しております。このため、前第1四半期連結累計期間と当第1四半期連結累計期間で退職給付債務の計算方法が異なっております。これにより、前第1四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合に比べて、日本の営業利益が2百万円増加しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	4,800	6,905	2,651	14,357
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	25,451
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.9	27.1	10.4	56.4

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	4,946	6,889	3,676	15,511
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	26,817
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.4	25.7	13.7	57.8

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本国以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アメリカ…北米・南米全域
- (2) 欧州………欧州全域、ロシア、アフリカ
- (3) アジア……日本を除くアジア・オセアニア全域

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他

平成22年12月期 第1四半期 決算概要

連 絡

1. 連結決算業績

	22/12実績		21/12実績		対前年同期増減		22/12予想		21/12実績	
	1Q(3ヶ月)	1Q(3ヶ月)	金額	率	上期	通期	上期	通期	上期	通期
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円		百万円	百万円	
売 上	26,817	25,451	+1,365	+5.4%	55,000	118,000			49,031	104,538
営 業 利 益	1,990	2,043	△53	△2.6%	3,500	8,500			1,618	5,144
営業利益率	7.4%	8.0%	△0.6P		6.4%	7.2%			3.3%	4.9%
経 常 利 益	1,963	1,887	+75	+4.0%	3,400	7,800			1,710	5,274
経常利益率	7.3%	7.4%	△0.1P		6.2%	6.6%			3.5%	5.0%
当 期 純 利 益	1,383	967	+416	+43.0%	2,400	5,000			1,020	3,161
当期純利益率	5.2%	3.8%	+1.4P		4.4%	4.2%			2.1%	3.0%
US\$	90.69	93.76	△3.07		90.00	90.00			95.59	93.65
Euro	125.49	122.01	+3.48		125.00	125.00			127.42	130.35

2. 連結セグメント別業績

売 上	22/12実績		21/12実績		対前年同期増減		22/12予想		21/12実績	
	1Q(3ヶ月)	1Q(3ヶ月)	金額	率	上期	通期	上期	通期	上期	通期
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円		百万円	百万円	
自 動 車	7,005	9,988	△2,983	△29.9%	16,000	36,000			18,369	37,192
分 析	8,370	8,182	+188	+2.3%	16,000	35,000			15,574	32,525
医 用	5,417	5,076	+340	+6.7%	11,000	24,000			10,710	22,337
半 導 体	6,023	2,203	+3,819	+173.3%	12,000	23,000			4,376	12,483
Total	26,817	25,451	+1,365	+5.4%	55,000	118,000			49,031	104,538
営 業 利 益	22/12実績	21/12実績	対前年同期増減		22/12予想		21/12実績		21/12実績	
	1Q(3ヶ月)	1Q(3ヶ月)	金額	率	上期	通期	上期	通期	上期	通期
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円		百万円	百万円	
自 動 車	△327	1,415	△1,743	-	△300	600			1,394	1,810
分 析	567	682	△114	△16.9%	600	1,500			566	1,519
医 用	494	302	+192	+63.4%	800	2,100			780	1,912
半 導 体	1,256	△357	+1,613	-	2,400	4,300			△1,123	△98
Total	1,990	2,043	△53	△2.6%	3,500	8,500			1,618	5,144

3. 連結[仕向地別]セグメント別売上

	22/12実績		21/12実績		対前年同期増減		22/12予想		21/12実績	
	1Q(3ヶ月)	1Q(3ヶ月)	金額	率	上期	通期	上期	通期	上期	通期
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円		百万円	百万円	
自 動 車	7,005	9,988	△2,983	△29.9%	16,000	36,000			18,369	37,192
日 本	3,121	4,200	△1,079	△25.7%	5,100	12,000			7,166	12,988
ア ジ ア	910	1,172	△261	△22.3%	2,700	6,600			3,371	6,515
ア メ リ カ	1,225	2,010	△785	△39.1%	2,800	6,400			3,220	6,504
欧 州	1,747	2,604	△856	△32.9%	5,400	11,000			4,610	11,182
分 析	8,370	8,182	+188	+2.3%	16,000	35,000			15,574	32,525
日 本	4,531	4,333	+198	+4.6%	7,100	14,800			6,972	13,540
ア ジ ア	1,142	851	+290	+34.1%	2,600	5,300			2,376	5,150
ア メ リ カ	1,198	1,376	△177	△12.9%	2,800	6,300			2,785	5,537
欧 州	1,498	1,621	△122	△7.5%	3,500	8,600			3,440	8,297
医 用	5,417	5,076	+340	+6.7%	11,000	24,000			10,710	22,337
日 本	1,026	1,181	△154	△13.1%	2,100	5,100			2,157	4,322
ア ジ ア	443	294	+149	+50.6%	900	2,000			825	1,899
ア メ リ カ	1,443	1,201	+241	+20.1%	2,900	6,200			2,671	5,665
欧 州	2,503	2,400	+103	+4.3%	5,100	10,700			5,055	10,449
半 導 体	6,023	2,203	+3,819	+173.3%	12,000	23,000			4,376	12,483
日 本	2,626	1,379	+1,247	+90.5%	5,300	9,900			2,477	6,518
ア ジ ア	1,179	333	+846	+254.1%	2,300	4,500			789	2,424
ア メ リ カ	1,078	211	+867	+410.6%	2,200	4,300			525	1,895
欧 州	1,138	280	+858	+306.5%	2,200	4,300			584	1,645
Total	26,817	25,451	+1,365	+5.4%	55,000	118,000			49,031	104,538

4. 連結決算業績(四半期比較)

	22/12			21/12実績			
	1Q実績	2Q予想	下期予想	1Q	2Q	3Q	4Q
売上	26,817	28,182	63,000	25,451	23,579	23,620	31,886
営業利益	1,990	1,509	5,000	2,043	△ 425	521	3,004
営業利益率	7.4%	5.4%	7.9%	8.0%	△ 1.8%	2.2%	9.4%
経常利益	1,963	1,436	4,400	1,887	△ 176	467	3,096
経常利益率	7.3%	5.1%	7.0%	7.4%	△ 0.7%	2.0%	9.7%
四半期純利益	1,383	1,016	2,600	967	53	265	1,875
四半期純利益率	5.2%	3.6%	4.1%	3.8%	0.2%	1.1%	5.9%
US\$	90.69	89.31	90.00	93.76	97.42	93.70	89.72
Euro	125.49	124.51	125.00	122.01	132.83	133.90	132.66

5. 連結セグメント別業績(四半期比較)

売上	22/12			21/12実績			
	1Q実績	2Q予想	下期予想	1Q	2Q	3Q	4Q
売上	26,817	28,182	63,000	25,451	23,579	23,620	31,886
自動車	7,005	8,994	20,000	9,988	8,380	7,742	11,080
分析	8,370	7,629	19,000	8,182	7,391	7,175	9,776
医療用	5,417	5,582	13,000	5,076	5,633	5,478	6,148
半導体	6,023	5,976	11,000	2,203	2,173	3,224	4,881
Total	26,817	28,182	63,000	25,451	23,579	23,620	31,886
営業利益	1,990	1,509	5,000	2,043	△ 425	521	3,004

6. 連結セグメント別受注・受注残状況(四半期比較)

受注	22/12			21/12実績			
	1Q実績	2Q予想	下期予想	1Q	2Q	3Q	4Q
自動車	10,357	—	—	5,527	8,530	8,648	8,128
分析	8,213	—	—	6,795	7,827	7,668	9,101
医療用	5,725	—	—	5,575	5,513	5,512	5,910
半導体	6,827	—	—	1,580	2,526	3,809	5,338
Total	31,124	—	—	19,478	24,397	25,638	28,479
受注残	19,104	—	—	17,649	17,798	18,704	15,753
分析	7,216	—	—	7,119	7,555	8,047	7,373
医療用	2,327	—	—	2,343	2,223	2,256	2,019
半導体	2,981	—	—	782	1,135	1,720	2,177
Total	31,630	—	—	27,894	28,712	30,730	27,323

7. 資本的支出・減価償却費・研究開発費

	22/12		21/12	
	1Q実績	通期予想	1Q実績	通期実績
資本的支出	※	680	4,500	1,544
減価償却費		1,048	4,500	1,025
研究開発費		2,359	10,000	2,177

※ 有形固定資産及び無形固定資産への投資額です。

IR窓口

株式会社 堀場製作所 財務本部 上杉 英太
〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 TEL 075-325-5003 (直通) E-mail eita.uesugi@horiba.com